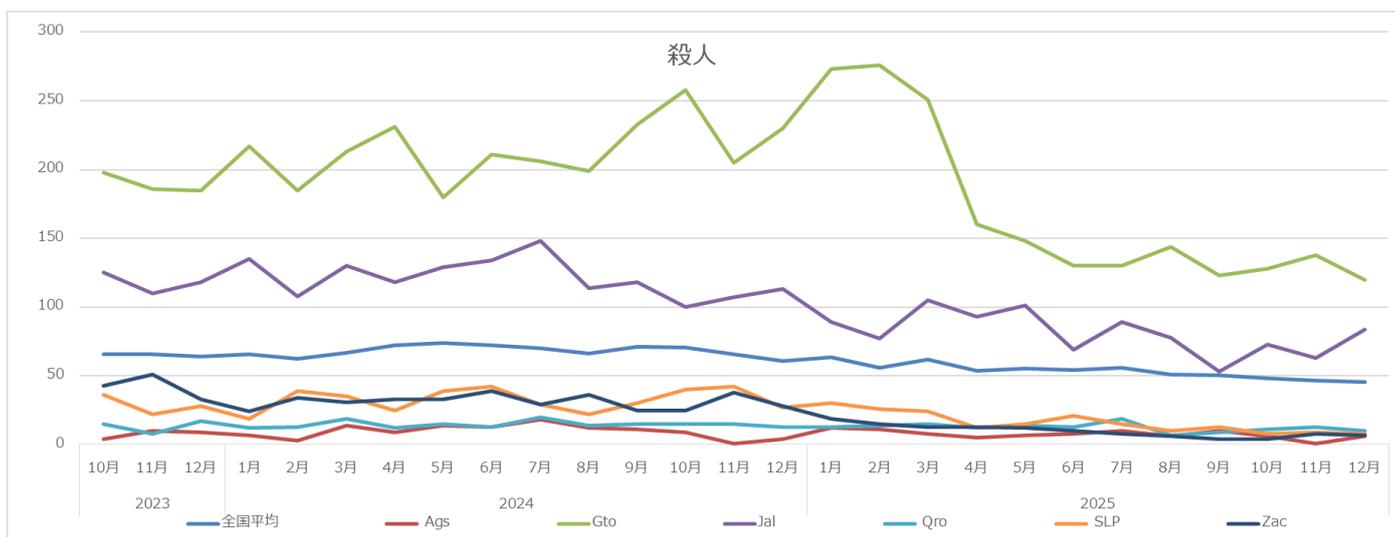
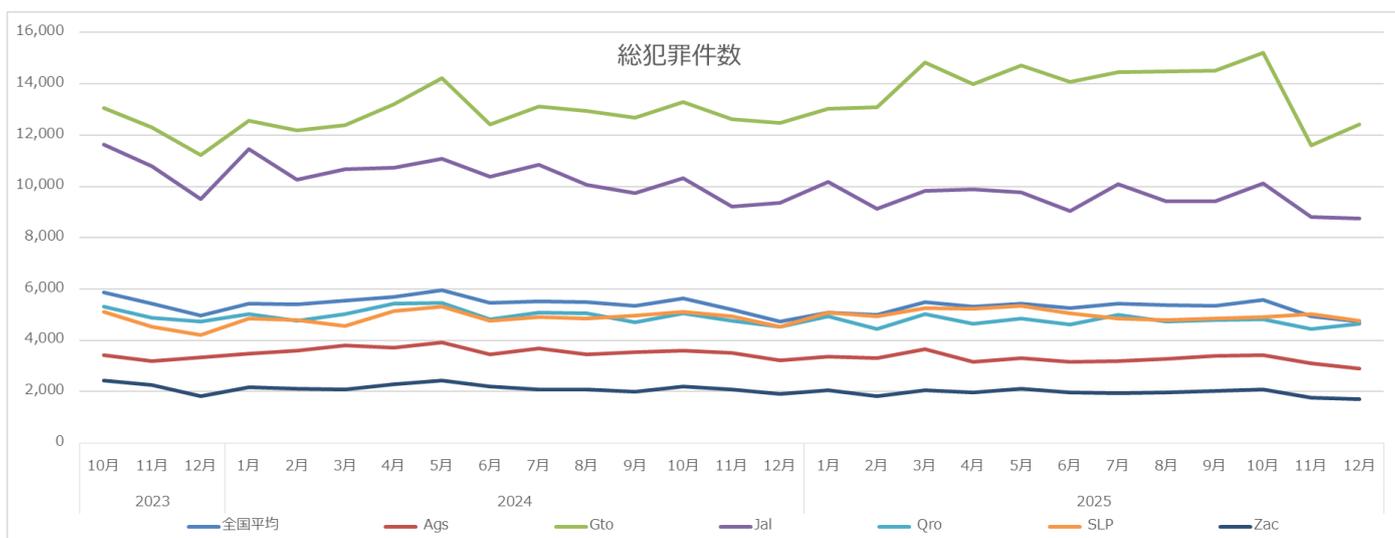


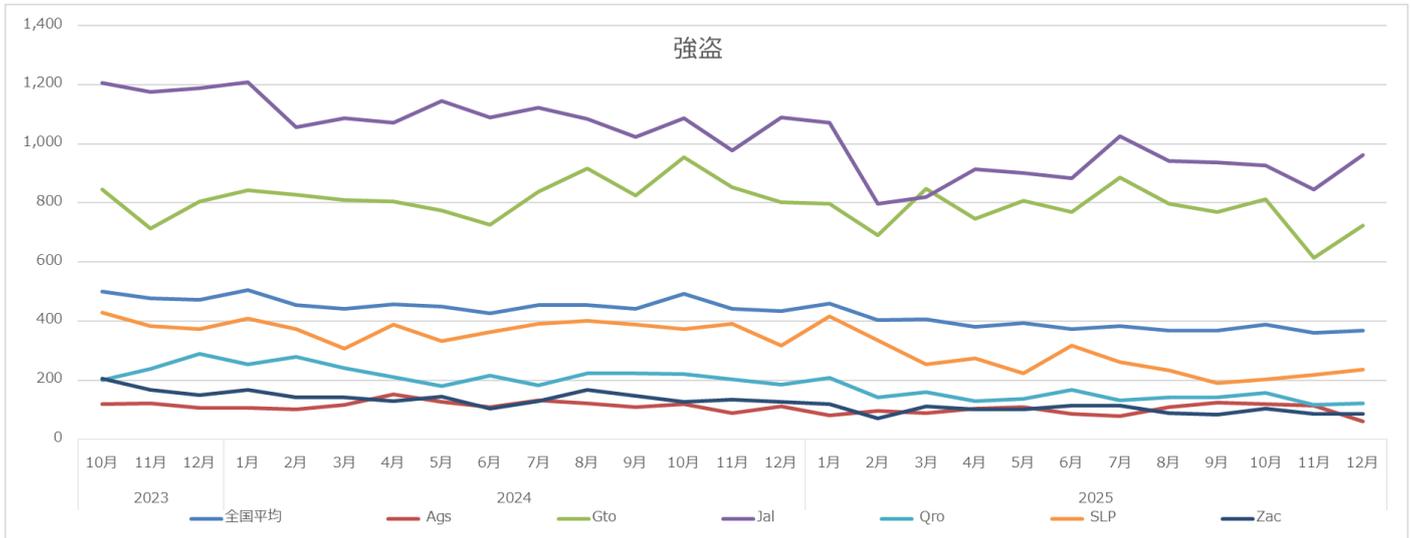
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2025年は2,021件で全国1位でした。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとして抗争が活発化している地区もあり、抗争はしばらく続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線で、邦人が乗車する車両への銃撃事件が引き続き発生している他、イラプアト市など邦人が多く在住する都市において殺人が急増しています。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けてください。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（10月～12月）39,229件

殺人事件の件数はここ数年徐々に減少しつつあるものの、依然として高い水準にあり、予断を許さない状況が続いています。また、カルテルによる事件も引き続き発生すると考えられます。こうした治安状況の中、特に車両強盗被害は依然として多く発生しており、注意が必要です。

車両強盗被害は、幹線道路及び高速道路の中でも、特に幹線道路45号線及び高速道路45D号線において確認されています。2025年1月から12月までに当館へ報告のあった州内の車両強盗による邦人被害は、未遂を含め5件でした。

都市間移動に際しては時間帯等を考慮した運行計画を立てることが重要ですが、通勤時間帯を含め、日中・夜間を問わず車両強盗被害が継続して発生しています。例えば、複数の車で移動するとか、警護車をつけることなど、より厳重な対策をとることを検討ください。被害者の国籍を問わず、SUVタイプ及びピックアップタイプの車両が対象となりやすい傾向が認められます。

・邦人被害（10月～12月）3件（車両強盗1件、銃撃被害1件、空き巣1件）

●車両強盗

10月8日10時30分頃、SUV車に乗車した邦人2名が、ケタロ州からグアナファト州へ移動するため、高速道路45D号線を避け、サン・ミゲル・デ・アジェンデ市を経由するルートで走行していたところ、シラオ市の手前で、白色SUVタイプの車両に追い越された後、進路を塞がれる形で停車させられた。その後、ライフルらしきものを所持した3人が降車し、邦人2名は車両から降り地面に伏せるように指示され、車両及び車内にあった財布、スマホ、パソコン等の所持品を奪われた。

●銃撃被害

10月23日7時頃、邦人男性1名が運転するSUV車が、45D号線セラヤ市付近を走行中、すれ違った対向2台が突然Uターンをし、このうちの1台のセダン車に前方を塞がれたことから、すり抜け前方に出た。その後、もう1台の紺色SUV車に後方から追いかけられ、その際に複数発の銃撃を車両後部に2発被弾したが、そのまま逃れた。

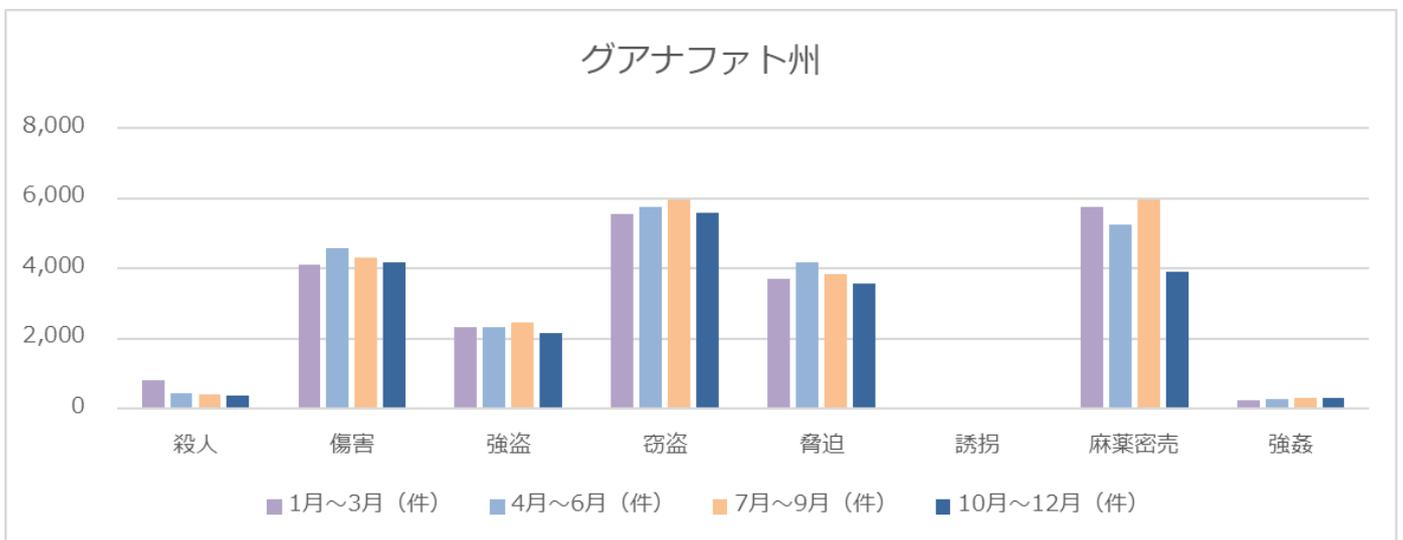
→ 強盗に遭った際は、抵抗することなく犯人の要求に応じ、犯人を見つめたり、追いかけてりするなどの、犯人を刺激するような行動は避けて下さい。（強盗被害に遭遇した際、犯人を刺激することで、生命・身体に危害を加えられるリスクが高まります。一般的に、無抵抗で金品を差し出した場合、そのリスクは低くなると言われていますので、気持ちを落ち着かせて犯人の指示に従ってください。）

●空き巣被害

10月10日日中、フラクシオナミエントの自宅へ帰宅したところ、部屋が荒らされており、自宅内に保管していた現金及びアクセサリ類が盗難された。

→ 帰宅した際、侵入形跡を発見したらまずは警察に通報してください。犯人が自宅内に潜んでいる可能性があるため、警察が到着するまで、中に入らないようにしてください。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	800	438	397	386
傷害	4,106	4,574	4,312	4,171
強盗	2,336	2,323	2,452	2,151
窃盗	5,542	5,755	5,972	5,597
脅迫	3,702	4,162	3,840	3,563
誘拐	1	4	3	4
麻薬密売	5,771	5,243	5,947	3,920
強姦	241	262	307	291



(2) アグアスカリエンテス州

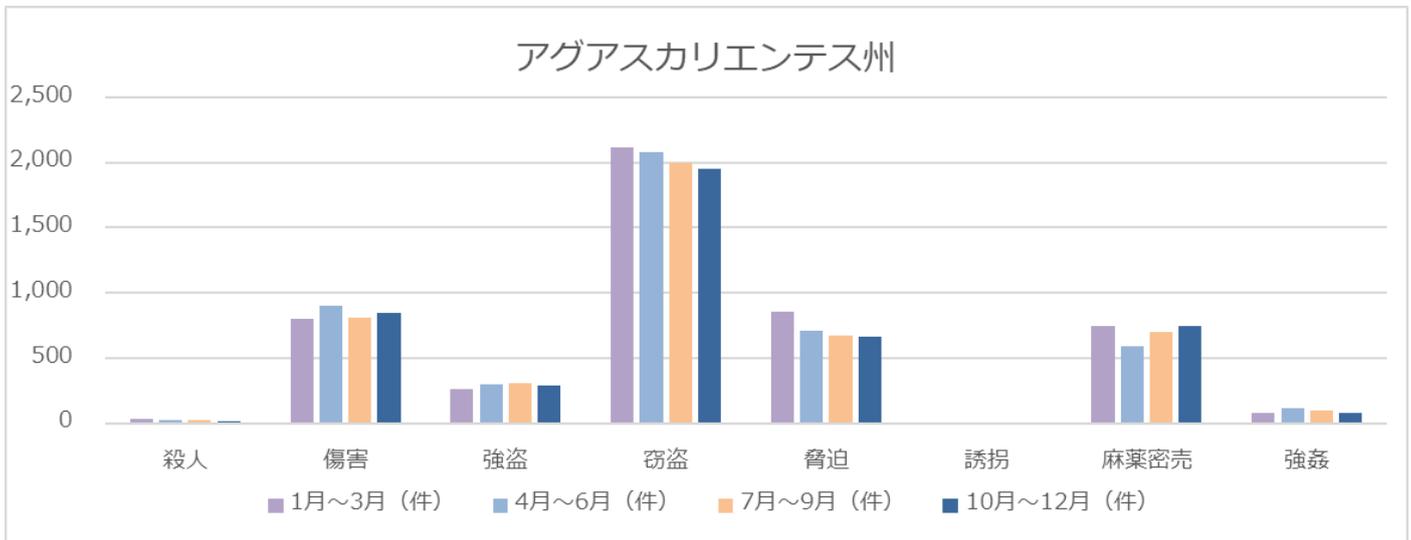
・人口約142万人 犯罪認知総数(10月～12月)9,434件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する場所は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

・邦人被害(10月～12月)0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	31	20	26	13
傷害	799	897	811	843
強盗	265	300	310	292
窃盗	2,115	2,079	1,994	1,948
脅迫	857	710	675	663
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	742	591	702	743
強姦	83	112	95	80



(3) ハリスコ州

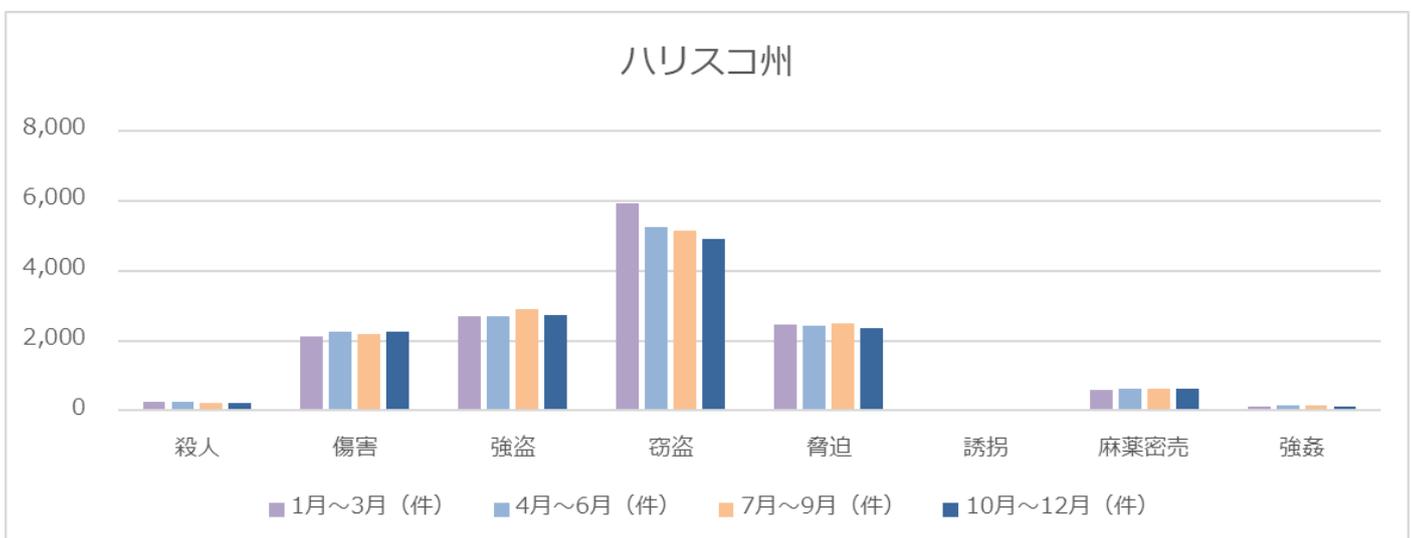
・人口約834万人 犯罪認知総数(10月~12月) 27,671件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害(10月~12月) 0件

10月~12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月~3月(件)	4月~6月(件)	7月~9月(件)	10月~12月(件)
殺人	271	263	220	220
傷害	2,108	2,248	2,184	2,272
強盗	2,688	2,698	2,903	2,734
窃盗	5,934	5,257	5,126	4,909
脅迫	2,460	2,434	2,477	2,356
誘拐	3	3	3	4
麻薬密売	591	620	611	622
強姦	122	147	146	112



(4) ケレタロ州

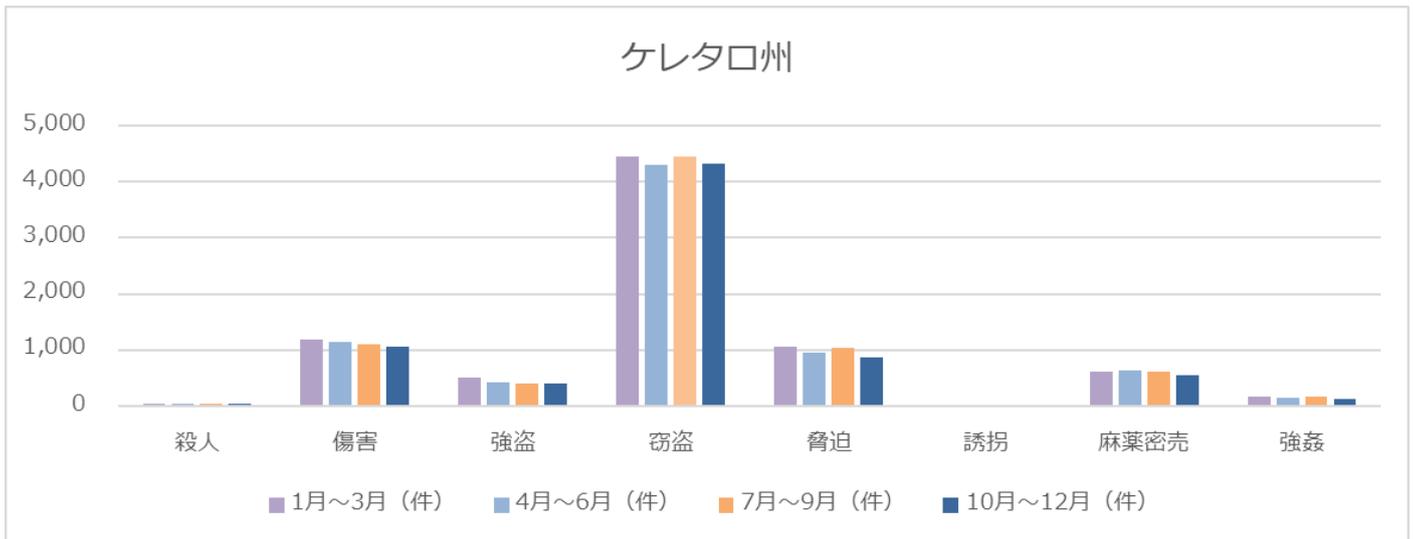
・人口約236万人 犯罪認知総数(10月～12月)13,893件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナフアト州やメキシコ州の治安が不安定であり、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路や幹線道路など多車線道路を利用してください。

・邦人被害(10月～12月)0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	42	39	35	34
傷害	1,179	1,147	1,101	1,052
強盗	508	431	414	394
窃盗	4,450	4,302	4,457	4,320
脅迫	1,061	963	1,037	868
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	610	632	625	555
強姦	170	142	170	126



(5) サンルイスポトシ州

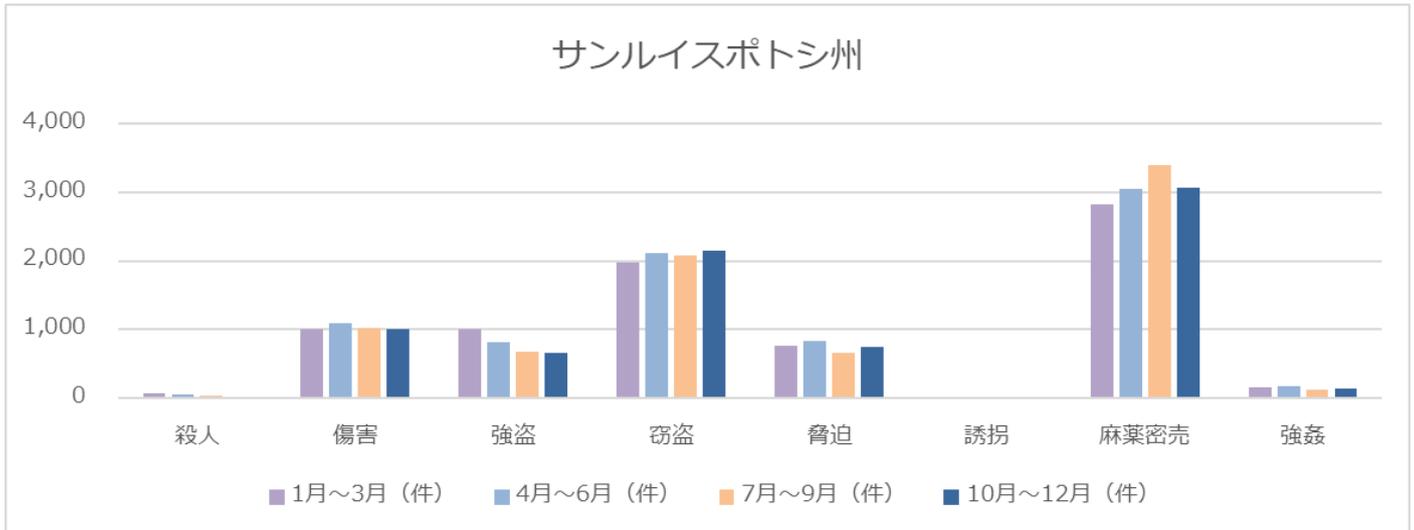
・人口約282万人 犯罪認知総数(10月～12月)14,688件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率(一定人口当たりの割合)も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も発生しておりますので、十分注意をしてください。

・邦人被害(10月～12月)0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	80	48	38	25
傷害	1,005	1,093	1,034	1,008
強盗	1,005	812	687	658
窃盗	1,971	2,109	2,073	2,145
脅迫	759	829	661	756
誘拐	1	1	1	2
麻薬密売	2,820	3,047	3,393	3,069
強姦	161	171	134	145



(6) サカテカス州

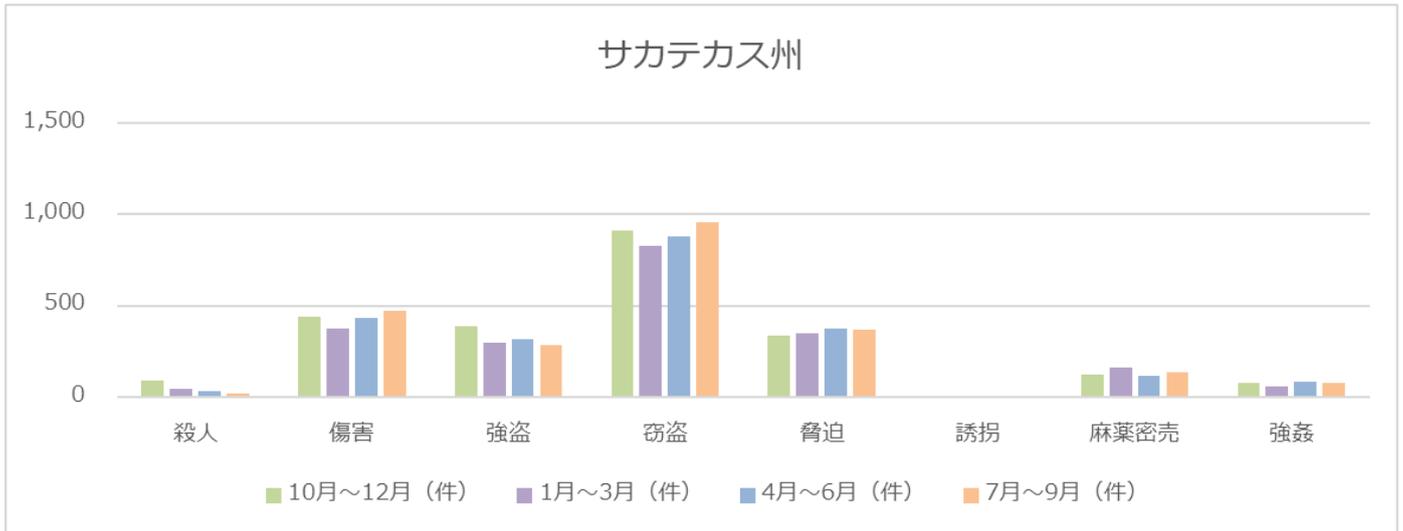
・人口約162万人 犯罪認知総数(10月～12月) 5,574件

殺人件数は、近年では麻薬関係者の抗争が落ち着いていると言われており、減少傾向にあります。しかし、その他の犯罪発生件数は依然として横ばいの状態が続いているため、引き続き十分な注意が必要です。

・邦人被害(10月～12月) 0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	47	35	18	19
傷害	374	436	475	405
強盗	301	316	285	277
窃盗	829	879	955	925
脅迫	351	377	367	354
誘拐	1	1	0	0
麻薬密売	162	115	133	141
強姦	58	82	77	53



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した銃撃事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りを極力避けるとともに、違法薬物には一切関わらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、銃撃事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意してください。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従ってください。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車両関連の犯罪被害が引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車両関連の犯罪被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社に事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討ください。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先してください。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、911番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出してください。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出してください。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様にご注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照ください。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上